

AI 活用で挑む学問の革新と創成
2020 年度採択研究者

2020 年度 年次報告書

カラスワット・タリン

情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設
人文学オープンデータ共同利用センター
特任助教

資料調査のためのオンデバイスくずし字認識

§ 1. 研究成果の概要

2020年度の12月から3月末までは研究の環境を整えるのが目標である。この準備期間では、くずし字認識アプリのオンデバイスで認識可能な文字の種類を制限するため、資料に出現する頻度の高い文字を選択し、くずし字データセットのデータフォーマット、データクリーニングの作業が完了した。さらに、アプリの主要部分のインターフェースを開発した。当初の研究計画になかった辞書機能とテキスト出力機能を追加した。2021年4月から6月にくずし字認識アプリを慶應義塾ミュージアム・コモンズの特別展覧会「交景:クロス・スケープ」、特別プログラム「文字形－AI が開く くずし字の風景」でアプリの体験版を展示するため、アプリの初期バージョンの開発を完了した。